第５回農業農村情報研究部会勉強会議事要旨

日時：　平成１７年４月２２日（金曜日）15:00-17:00
会場：　東大農学部 7 号館 A 棟 7 階セミナー室（７１７号室）
出席者（順不同）：大政謙次（東大）,大西亮一（日本農業土木総合研究所），中西憲雄（農工研），小浮正敬（農業土木総研），　町田聡（パシコン）,石山斉（パスコ），三谷歩（パスコ），小阪昭久（パスコ），吉迫　宏（農工研）,臼杵宣春（美土里ネット），小川茂男（農工研），　山田康晴（農工研），星野　敏（神戸大学），溝口　勝（東大），沖　一雄（東大），清水　庸（東大）

１．報告・審議事項

・前回議事録が承認された。

・平成 16 年度の活動報告および平成 17 年度の活動方針について報告された。学会大会時の 8 月 25 日（9 時～10 時 30 分）に研究部会の企画セッション「農業土木における農業農村情報」を開催する予定である。

２．勉強会

(1)　ため池データベース等の紹介（農業工学研究所）
「ため池群の洪水軽減効果シミュレータの開発」,「日本水土図鑑 GIS データベース」,「遠隔監視のためのため池群情報管理通信網の整備」に関して，報告していただいた。

・シミュレータのユーザについて，上流から下流までの広域を網羅するシステムとして活用していくため，技術者やため池周辺の農業従事者から，将来的には都市住民まで含めて考えていることが紹介された。

・土地利用基盤整備基本調査，基幹水利施設等のデータベースについて，今後，研究機関に公開される予定であることが報告された。また，データの一部を教材として利用したいといった要望があげられた。

(2)　農業農村情報研究部会におけるこれまでの論点整理（株式会社パスコ・パシフィックコンサルタンツ株式会社）
・これまで４回の勉強会を経て，論点を整理していただいた。キーワードについて,「食の安全確保」や，総合科学技術会議が提案するキーワード（5 月に中間取りまとめがあり）を入れ込む必要性が挙げられた。

・　研究部会の進め方のひとつとして，テーマを絞り，WG をつくる案が出された。
・　テーマ案として，(a)国内外の情報化事例調査，(b)モデル地区の設定による農業・農村の情報化の推進, (c)農業・農村の将来像の検討などが挙げられた。現時点では WG は作成しないが，海外の情報化事例に関する紹介についての要望が出された。

(3)　知識データベースについて

・これまで農村や農業に蓄えられてきた知識（経験など）に関する「抽出・収集」,「管理」,「利用」するための方法論・データベースの重要性について意見が出され，部会で扱うテーマのひとつとした。

３．次回会合

当初，平成 17 年 6 月 24 日を予定していたが，再度，調整の上，平成 17 年７月 1 日 15 時～17 時（東京大学農学部 7 号館Ａ棟７階セミナー室）にて開催することに決まった。勉強会の内容としては，現在調整中である。